

座間市立公民館・ZPSC合同会議①

日時：平成28年5月25日（水）

14：00～15：30

場所：東地区文化センター

1.出席

ZPSC 会長・A＝若松 副会長兼会計・C＝渡邊 書記兼監査・D＝吉川 HP・D＝下田
公民館＝山頭・小林 東地区＝植松・西ヶ谷 北地区＝野口

2.検討事項

1) 近況報告～講座状況・パソコン状態・各班の現状など

A＝相談会に参加される方が多く、教える側が不足している。

相談会で参加者が多いと電動車イスの方に付ききりで対応出来ず、時々暴れるので困っている。6月からエクセル講座、担当講師が決り準備中。

C＝会員不足のため相談会チラシの裏に会員募集を乗せている。一時、相談会参加者が増えたが、現在は来場少ない。W10についてのトラブル相談が多い。

D＝会員10名。相談会は常時8～9名の会員が参加している。利用者は10～13人程度。部屋が広い講座室と狭い第2会議室を交互に使っているため、第2では電動車イスの方がくるとあふれかえってしまう。

公＝「暮らしの実用講座」でパソコンのことを取り上げたいとCに依頼中。パソコンを買いたいけどどうしたら良いかなどやパソコンを楽しさを知ってもらいたい。今年度は「ほんとうにはじめてのパソコン」がないので、検討中。

東＝エクセル入門講座の応募が6人。エクセルは休日が良いという声が多い。今回は木曜日なので応募が少ないのかと考える。北地区の講座や相談会などでチラシを配布してもらうよう依頼中。

北＝「ほんとうに＆おひさしぶりのパソコン」開催中。応募は22名。6回の講座と期間を長くし、復習を多くしてもらって好評である。受講者にレベル差があるので講師もとまどっていると思うが、2回目で少し落ち着いてきたところ。

パソコンの状況＞北地区においてアップデートを行ったがうまくいかず、JMCに26日（木）にみてもらうことに。状況はまたお知らせします。

※JMCの点検結果、問題なし。4台は更新終了。

2) 来年度の講座について

★現在のパソコンのリース期限切れとともに、財政面からは賃借料・保守委託料がかかりすぎているのではないかと。行政がパソコン講座を行う意義は？ など問われている。

3館でも職員レベルで検討しているがそれぞれに考え方が違う。

公＝民間の講座もあることから、行政がやる必要があるのかと考える部分もある。公民館運営審議委員に事業評価をしてもらい検討要素としたい。

東＝「ほんとうにはじめてのパソコン」講座を事業評価していただく。学習の機会をどう広げていくか。応募人数が減少していることは周知に問題あったかとも考える。講座に対しては無料の原則を貫きたい。

北＝20代から80代・90代までが一緒に机を並べて学習する講座はパソコン講座ならではの考える。養成講座から10年がたち、講座も10年続けてきたが、講師となれる

人が育ってこないということはどう考えてよいか。講座はボランティア講師の活躍の場という側面もある。パソコンについては、他の部署との共用も視野に入れば、賃借料が高いという点は説明がつくのではとも思うが、メンテナンスを考えると難しい。Z＝パソコン使用に対しての負担金を値上げするというのはできないのか。パソコンを使ったことが無い人にパソコンの楽しさを教える講座はできないかと考える。国勢調査のパソコンを使った回答率、座間市の低さを考えるとまだまだ講座の需要・意義はあるのではないか。ボランティアがセキュリティ関係に強くならなければいけないと思う。単元を個別化して行うのはどうか。

3) その他

- 今後の予算措置については不明の状態だが、リース更新をして講座を続けるという方向でも検討していくこととする。W10のテキストもどんどん出てきているので検討する。
- 合同役員会での情報交換は有意義なものと考えてるので、定期的に行っていく。

次回合同役員会 7月20日（水）午前10時～ 北地区文化センター